

## V 小・中学校一貫教育

### 青梅市小・中学校一貫教育モデル校

#### 1 実施概要

平成20・21年度青梅市小・中学校一貫教育モデル校の指定を受け、第七中学校と目指す児童像を明らかにして、共通した研究主題を設定し、各教科・領域において重点活動を取り入れた9年間を通した指導計画を作成している。今後、作成した指導計画を取り入れた検証授業を行い、成果と課題を明確にして2月19日の研究発表会に向けて研究を推進している。

#### 2 研究主題

「小・中一貫教育による生きる力の育成を目指して」  
～主体的に人とかかわることのできる児童・生徒の育成～

#### 3 9年間を見通した重点活動

育てたい児童・生徒像に迫るためには、日常的な教育活動の中で、「いろいろな集団活動する経験」、「自分に自信が持てるようにする経験」を、意図的・計画的に、具体的な活動を設定する必要がある。そこで、以下の6つの活動を考えた。

- (1) 自分の考えをもち、まとめる活動
- (2) 発表したり、説明をしたりする活動
- (3) 他者の考えや意見を理解し、よさに気付く活動
- (4) 互いの考えを伝え合い、深め合う活動
- (5) さまざまな相手と積極的にかかわり合う活動
- (6) 学習や生活のルールやマナーを守り、共に取り組む活動

#### 4 実践の視点と具体的な手だて

6つの活動の具体的な場面として3つの部会を設定し研究を深めることとした。

##### (1) 「まなび」部会

全教科にわたり、(1)～(6)の活動が年間指導計画の中で、どの単元で行われているかを確認し、その後、その資料を基に、研究の方向性を探り、重点となる教科を、外国語活動(中学校では、英語)と国語とした。

##### (2) 「こころ」部会

道徳・特別支援教育(ボランティアを含む)・生活指導等と考えた。

##### (3) 「かかわり」部会

総合的な学習の時間・特別活動(児童・生徒会、部活動含む)・交流活動(行事含む)等と考えた。